# 泉平のエコ物流





### 物流における環境問題

CO2の排出は、国際的な社会問題のひとつです。

低炭素社会に向けてのCO<sub>2</sub>削減は、物流に関わるすべての事業者に要求されています。

国土交通省の報告によると、2016年度における日本の二酸化炭素排出量は12億600万トン。そのうち、運輸部門からの排出量は17.9%を占めており、そのうち自家用乗用車は46.1%、営業用貨物車が19.6%、自家用貨物車が16.8%、その他は船舶や航空、鉄道などの輸送機関です。2016年度の排出量CO₂排出量(2億1500万トン)は、旅客輸送における自動車の燃費改善や、貨物輸送における輸送量の減少等により、2001年度比で年々減少しています。

#### 運輸部門における二酸化炭素排出量の推移 (単位 百万トンCO<sub>2</sub>) +23.0 215 +14.3% -9.5% -5.0% 自家用乗用車 その他輸送機関 +10.2 -3.4% -2.2% -4.7% -3.9% -6.4% -5.8% 貨物自動車 +12.0% -10.9% -2.3% 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 その他輸送機関:パス、タクシー、鉄道、船舶、航空、二輪車

# 環境に配慮した エコ物流に取り組んでいます

### 「食」を通じて人をつなぎ、 「物流」を通じて地球を笑顔に



#### 車両のエコ化

限りある資源とCO2削減のために、地球環境に優しい車両のエコ化に順次取り組んでいます。

#### ▶全社の営業乗用車をハイブリッドカーへ順次変更

⇒燃費が良く、環境にも優しいハイブリッドカーへ順次変更しています。 トヨタアクア・トヨタカローラフィールダー・スズキワゴンR・ダイハツムーブ

#### ▶全社冷凍車両にアイドリングストップ装置「エコストップ」を装着

⇒冷凍車両全63台に「エコストップ」装置を装着しています。また、5年周期で 全車両を燃費性能とCO2削減効果の高い車両に入れ替えています。

#### エコドライブの推進

急加速や急減速、急停止などの運転は、燃料の浪費になります。 つまり、安全な運転は、環境に配慮した運転につながります。 当社では、運転内容を点数で評価できる仕組みを取り入れており、定量 的な指標のもと管理・指導し、エコドライブの推進を実施しています。

#### ▶ふんわりアクセル「e スタート」の実施

⇒燃費を向上させる「やさしい発進」を行うことで、10%程度燃費が改善されます。(最初の5秒で時速20km程度が目安)

#### ▶エコドライブ運動

⇒2018年度よりトラック協会に参加し、運転を通じて乗務員の意識向上を図っています。

